

大山寺 伊勢原市大山 724

奈良の東大寺を開いた良弁僧正が天平勝宝7年（755）に開山したのに始まります。行基菩薩の高弟である光増和尚は開山良弁僧正を継いで、大山寺二世となり、大山全域を開き、山の中腹に諸堂を建立。明治初年の廃仏毀釈により、現阿夫利神社下社のある場所から現在の場所に移りました。ご本尊の不動明王像は1264年願行上人の作。江戸時代に春日局が、家光が将軍になることをこの不動明王に祈願。家光は3代将軍の座に就くことができましたと言われています。



本殿



本殿の上に不動明王の彫刻



龍の彫刻



龍の彫刻



紅葉は少し遅かった



階段下からの参道



龍神堂



龍神堂の説明書き



大山下社